

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、7日、10日、11日の3日間、16人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



諦めずに取り組みを!

町田 昌弘 (志政会)

今回の主なテーマ

- ▶入曽駅東口整備は最重要課題
- ▶特産狭山茶のさらなる振興

◆入曽駅東口地区は今後どうするのか

①事業断念の理由は何か。今後の進め方はどのように考えているか。

②入曽駅東口地区周辺の雨水対策は。

市長 ①駅前の要所を所有する反対地権者と関係者に直接面会し、事業に対する最終的な意向確認をした。結果は、強い反対の意向が示され、今後も事業に対する理解や協力が得られる見込みはないことを確認した。事業実施に不可欠な都市計画決定の手続が進められない以上、事業を行うことは困難と判断し、現時点での事業実施を断念した。しかし、入曽駅東口地区は、交通や防災の面で解決しなければならない地域課題があり、今後とも地区の整備を市の重要課題として位置づけ、引き

続き地域の状況を把握しながら対応していく。②大雨の際、複数の箇所ですみずい溢水、冠水が発生しているため、市街地開発事業で雨水処理を整備し、これらの解消を目指してきたが、事業の実施を断念したことで施設の整備も当面困難となった。しかし、当地区の雨水対策は重要な地域課題であり、今後の対応を指示していく。



狭い道路の入曽駅東口



河川敷公園のトイレと
笹井方面のバス運行

猪股 嘉直 (日本共産党)

今回の主なテーマ

- ▶花見をする公園のトイレの改善を
- ▶飯能駅行きのバスの増便を西武に要請して

◆河川敷(花見)公園のトイレの改善

柏原地内河川敷中央公園は花見の場所として市民の憩いの場。しかしトイレに流す水は汚水の状態。そのメカニズムと改善の考えは。

建設部長 トイレは、バクテリアを利用して水を循環して使用しているため、便器を流れる水は濁っている。管理に年1回バクテリアを補

充しているが、使用頻度が低くトイレの水を循環することで賄えるため、くみ取りは行っていない。県事業の、川のまるごと再生プロジェクトに合わせ、透明な水が流れるようなくみ取り式簡易水洗トイレなどを検討したい。

◆飯能行き西武バスの便数を戻して

狭山市駅西口から飯能駅行きの便が激減。ピーク時の3分の1。復活するよう要請を。

市民部長 23年度以降、自治会から路線新設などが2件寄せられ、事業者に要望したが、道路幅員の問題や継続運行できるだけの利用者数が見込めないと理由で、新設されていない。路線の存続には、沿線の皆様にバスを利用していただくことも大切なことと考える。



改善要望がある花見公園内のトイレ



防災対策と
入曽地区の今後の課題

大沢 えみ子 (日本共産党)

今回の主なテーマ

- ▶要援護者名簿と福祉避難所
- ▶入曽駅周辺の課題への対応
- ▶入曽駅エレベーターの設置

◆防災対策

地域防災計画の要援護者名簿と、福祉避難所の具体化はどこまで進んでいるか。

市民部長 名簿は、26年1月の電算システム稼働に向け、要援護者台帳の根幹となる要援護度を算出するための基準について検討している。避難所は、現行の地域防災計画では、要援



護者を2次的に収容するための施設を各地区センターまたは付近の自治会館などとしており、収容人員や避難体制は明確にしていなかったことから、26年度に予定している地域防災計画の見直しの中で明確にしていく。

◆入曽地区の整備

開発を「断念」とのことだが、今後、地域の課題をどう捉え、対応していくのか。

市長 入曽駅東口地区は、現時点での市街地開発事業の実施は断念したが、交通や防災などの面で解決しなければならない課題が山積している。当地区の整備は、今後も市の政策的な重点課題として位置づけ、引き続き地域の状況を把握しながら対応していく。



学校統廃合は
住民の声をしっかり聞いて

広森 すみ子 (日本共産党)

今回の主なテーマ

- ▶学校統廃合
- ▶教員の多忙解消
- ▶幼稚園の跡利用

◆中学校の統廃合

①廃止とされた中学校は適正規模であり、伝統ある学校をなくすのは反対の声があるが、対応は。

②東中の廃止で狭山台中への編入の方向が示された。狭山台中の規模はどうか。

③狭山台の関係者は統廃合協議に加わっていない。当事者の声を聞くプロセスがあつてしるべき。どう対応するのか。

生涯学習部長 ①保護者や地域へ協議の状況を説明し、出された意見などを協議会へフィードバックし、さらに検討協議を重ね統廃合への不安の払拭や理解度の向上を図っていく。②富士見小校区の生徒が全て狭山台中に通学すると、25年度の数値では、狭山台中の生徒数

は304人から678人になるが、特別許可地区の設定で、これより減少すると考えられる。学級数は9学級から18学級になると推計される。

③これまで、入間川地区の関係者で検討協議を進めてきた。今後は狭山台地区の関係者も加えて協議を進め、保護者や住民に説明会を開催するなど、理解の醸成を図っていきたい。



ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けいたしますので、議会事務局にご連絡ください。

☎04-2953-1111 内線3313